

加盟団体各位

静岡県武術太極拳連盟
会長 安田 秀

第43回全日本武術太極拳選手権大会
開催要綱・出場申込書類送付の件

出場申込期限：2026年3月10日(火)

このことについて下記の通りご案内申し上げます。
開催要項に基づいて手続き期限までにお申込下さい。

記

1. 別紙「2026年度全日本選手権大会出場資格者」に該当する選手の所属する団体及び県予選を必要としない種目の出場者のいる団体は、「出場申込書」「出場申込人数・出場料・登録料内訳書」「登録料・出場料・事務手続き料納付書」を県連盟事務局宛提出してください。
2. 登録料・出場料・事務手続き費について
別紙開催要項に基づき、登録料・出場料（出場申込要項参照）と事務手続き費（1人1000円）を下記の口座に振り込んで下さい。

3. 上記書類の提出、払込期限 ~~3月10日(火)~~

協会×切 2/28(土)

4. 登録料・出場料、事務手続き費の振込口座

口座番号：00820-5-116004
加入者名：静岡県武術太極拳連盟

5. 他県から転入された選手は、登録事項変更届（住所変更）及び所属都道府県連盟変更登録申請書を提出してください。
（2025年4月1日現在在住する都道府県の都道府県連盟による選抜大会を経て選抜された選手に限り出場することができるため。）

記

第43回大会の開催地と会場について

本大会は東京・千駄ヶ谷で開催されます。会場は「東京体育館」となります。

本大会の特徴と出場手続きの注意事項

1. 日本代表選手の選考

日本代表選手選抜については、国際大会主催団体より大会詳細の発表後に決定となります。

2. 競技種目と出場規定の確認事項

競技部門は、下記の5部門となっています。

- [a] 強化指定国際競技部門、[b] 規定競技部門、[c] 自選競技部門、[d] 伝統競技部門、
[e] 団体競技部門

① 複数競技部門の出場禁止

[e] 団体競技部門を除き、[a]～[d]の個人競技部門では、一人の選手は1つの競技部門にのみ出場できることとし、複数の競技部門に出場することはできません。

② 競技部門内での出場種目数の限定

[a]～[d]の個人競技部門では、一人の選手が1種目しか出場することができない部門と、競技部門内で複数種目出場することができる部門が区別されているので、「開催要綱」に基づいて、定められた種目数で出場申込みをしなければなりません。選手が1種目しか出場することができない部門にエントリーしたにもかかわらず、他の種目にもエントリーした場合は、エントリーした全ての種目の出場申込みを不受理とします。2種目しか出場できない部門であるにもかかわらず、3種目あるいはそれ以上エントリーした場合も同様とします。

なお、上記の内容に加えて、[b] 規定競技部門、[d] 伝統競技部門の出場制限を下記の通り、補足します。

「[b] 規定競技部門」

9. 総合太極拳A・B、10. 総合太極拳C、11. 24式太極拳A、12. 24式太極拳B、13. 24式太極拳C、14. 32式・42式太極剣 は、1人1種目に限って出場することができます。

9. ～14. のいずれかの種目に出場する選手は、15. 規定難度太極拳、16. ジュニア太極拳2、17. 長拳、18. 剣術、19. 刀術、20. 槍術、21. 棍術、22. 南拳、23. 南刀、24. 南棍 のどの種目にも出場することはできません。

その目的の一つは、大会の日程が限られているなかで、少数の選手の不合理な重複出場を減らし、できるだけ多くの選手に出場機会を提供するために、個人競技の競技部門を越えて複数種目の出場はできないこと、個人競技の競技部門のなかで、規定難度太極拳、ジュニア太極拳2を例外として、それ以外の太極拳種目と拳術系種目に重複して出場することはできないこととしています。

「[d] 伝統競技部門」

31. 伝統拳術A、32. 伝統拳術B、33. 伝統拳術C、34. 伝統器械のなかでは、1人1種目に限って出場することができます。

③ 規定難度太極拳、長拳、南拳出場にあたるエントリー申請書提出義務付け

規定難度太極拳、長拳、南拳に出場する選手は、技術水準を保つために「出場申込書」〈書式-3(A・B)、-4(A・B)、-6〉とは別に、「エントリー申請書(規定難度太極拳、長拳、南拳)」〈書式-5(A・B・C)〉を一緒に提出することを義務付けます。提出後、申請の取消し指定となった場合は、種目変更は認めず、2026年4月30日(木)までに、日本連盟から選手本人・所属都道府県連盟に通知し、登録料・出場料を本人に返金手配します。

④ 団体競技は1人1種目に限る

団体競技の「対練」出場者が別途、他の団体競技(「集団」、「太極拳推手」または「ペア総合太極拳(自選)」)に出場することはできません。一人の選手は、「対練」、「集団」、「太極拳推手」または「ペア総合太極拳(自選)」のいずれか1種目に限って出場することができることとします。

集団種目のエントリーについては、チーム責任者のほか、出場選手からも代表者を選び記載する。

⑤ 出場都道府県連盟の統一

一人の選手はたとえ複数の競技種目に出場する場合でも、一つの都道府県連盟に限定して出場申込み手続きを行わなければなりません。一人の選手が複数の都道府県連盟から個人競技種目の出場申込みをした場合は、どちらの申込書も受理されないこととします。

⑥ 大会選手登録料・出場料の納付について

出場選手は、「出場申込要領」に基づいて出場申込み手続きを行い、下記の大会選手登録料・出場料を納付することとします。

個人競技：O-20(20歳以上)選手1人4千円(不課税)の登録料、1種目につき4千円(税込)の出場料

U-19(19歳以下)選手1人4千円(不課税)の登録料、1種目につき2千円(税込)の出場料

団体競技(年齢共通)

対練：1チーム1種目につき8千円(不課税)の登録料、6千円(税込)の出場料

集団：1チーム1種目につき1万5千円(不課税)の登録料、1万5千円(税込)の出場料

太極拳推手・ペア総合太極拳：

1チーム1種目につき8千円(不課税)の登録料、8千円(税込)の出場料

非加盟個人：選手1人2万円(不課税)の登録料、1種目につき8千円(税込)の出場料

3. 競技日程について

「36. 集団」は、本大会の第1日または第2日のいずれかで実施します。エントリーを予定している選手は、金曜日または土曜日の出場となりますので、あらかじめ日程の調整をしたうえで、出場申込みをしてください。

4. 出場申込み手続きは都道府県連盟を通じて行う

本件の開催要綱等は都道府県連盟および学生連盟のみに送付しています。出場申込み手続き等日本連盟にたいするすべての手続きは、都道府県連盟および学生連盟を通じて行っていただきます。これ以外の手続きは、下記を除き受理しません。

5. 非加盟個人出場申込み期限＝2026年4月10日（金）

大会参加団体に所属しない個人で出場を希望する人は、都道府県選抜種目以外の種目に限って、大会運営委員会に直接出場を申し込むことができます。申込み期限は上記の通り、都道府県連盟の申込みと同じ期限とします。同日を過ぎた申込書は受理しません。

6. 「シード選手」制度

「開催要綱」16. シード選手に基づいて太極拳個人競技種目に限って「シード選手」制度を実施します。

選手のシード権は、該当種目の前年の全日本選手権大会の成績によって発生し、シード選手個人に属する特別出場権です。県連盟は、関係する出場選手のうちの選手がシード選手であるか把握しておくことが必要となります。従って、シード選手も必ず在住地の都道府県連盟を通じて出場申込みをしなければならない規定となっています。都道府県連盟におかれましては、シード選手についての手続きもよろしくお願いいたします。

◎ シード選手の出場手続依頼義務

都道府県連盟は、都道府県選抜選手のみならず、シード選手も含めて2026年4月10日（金）までに出場手続きを行わなければなりません。そこで、シード選手の義務として、上記期限に十分間に合うように、在住地の都道府県連盟に自分がシード選手であることを申し出て、出場手続きを依頼しなければなりません。特に、シード選手が在住地の都道府県連盟の加盟団体の会員ではない場合は、都道府県連盟はシード選手の存在を把握していないこともあります。シード選手が適切な時期までにこの依頼を怠って、出場申込み期限に間に合わなかった場合は、その選手は本大会に出場することができなくなります。この場合の責任は都道府県連盟には無く、シード選手自らが負わなければならないこととします。

◎ 都道府県連盟に対する依頼期限、提出書類等

各シード選手は、在住地の都道府県連盟に対して事務手続や料金等の負担がかかることを避けるために、在住地の都道府県連盟と連絡を取って、遅くとも出場申込み期限の約1ヵ月前の、3月10日（火）までに、同封の「〈個人競技〉出場申込書」シード選手用〈書式-4（A・B）〉に所定の事項を記入して、所属団体印を捺印したものを都道府県連盟に提出し、併せて、都道府県連盟が指定する方法で規定の出場料を納付することになっています。これに基づいてシード選手の出場申込み手続きを処理してください。

◎ 「出場申込書」の使用書式について

「〈個人競技〉出場申込書」シード選手用〈書式-4（A・B）〉は、シード選手がシード種目に出場するための専用の書式です。シード選手がシード権を放棄して他の太極拳種目に出場する場合、他の種目に選抜されて出場する場合は、都道府県連盟に送付している「〈個人競技〉出場申込書」〈書式-3（A・B）〉を使用します。

7. 「[a] 強化指定国際競技部門」の出場申込について * 自選難度競技部門から今大会より改名

◎ 「[a] 強化指定国際競技部門」の出場申込

「[a] 強化指定国際競技部門」は、選手強化委員会の指名を受けた選手のみが出場できます。

「[a] 強化指定国際競技部門」に出場する選手は、選手強化委員会から別途、本競技部門用の出場申込書入手し、都道府県連盟を通じて出場申込手続きを行っていただきます。

いずれも対象となる選手がいる都道府県連盟には、別途4月以降にご案内します。

8. 県連への「出場申込み」提出期限＝2026年3月10日（火）

同封の「出場申込要領」に従って「出場申込人数・出場料内訳表」〈書式-1〉、「大会分担金・登録料・出場料納付書」〈書式-2〉、「出場申込書」〈書式-3（A・B）、-4（A・B）、-6〉に記入、捺印して提出してください。申込書類は必要な部数を複写してご使用ください。

9. 大会分担金・大会選手登録料・出場料

「大会分担金・登録料・出場料納付書」〈書式-2〉に記載した大会分担金と登録料・出場料の合計金額を貴連盟で一括して、3月10日（火）までに下記の指定口座に振り込んでください。

登録料・出場料、事務手続費の振込口座

口座番号：00820-5-116004 加入者名：静岡県武術太極拳連盟
--

10. 大会開催中止の際の参加費について

大会開催前に中止が決まった場合、日本連盟加盟団体から出場申込みを行った選手は日本連盟から都道府県連盟を通して、個人で出場申込みを行った選手は日本連盟から直接、中止の時期や条件によって登録料および出場料の全額もしくは一部を返金手配します。

また、その他費用（交通費・宿泊費・通信費・振込手数料等）は、返金対象外とします。

11. 服装規定について

- 1) ゼッケンは着用せず、入場前に審判長に提示する方式をとります。
- 2) 「[a] 強化指定国際競技部門」に出場する選手の服装は、『新国際競技ルール』の記載に基づくものとします。
- 3) 「[b] 規定競技部門」、「[c] 自選競技部門」、「[d] 伝統競技部門」、「[e] 団体競技部門」に出場する選手の服装は原則として自由。ただし武術太極拳競技にふさわしい服装とします。

12. 2026年の第43回全日本選手権大会での変更点について

本大会より、以下の変更がありますので、ご注意ください。

- 1) 「自選難度競技部門」の名称を「強化指定国際競技部門」へ変更し、各種目も自選から自選難度へと改めております。＊例：自選太極拳→自選難度太極拳、自選長拳→自選難度長拳
- 2) 「強化指定国際競技部門」について、同封した資料の通り変更を行います。前日練習[7月2日（木）]の時間については、その他の部門の時間は変更せずに、別途「強化指定国際競技部門」の練習時間を設定する予定です。
- 3) 国際大会の運用に合わせ、規定難度太極拳演武中におけるホイッスルによる時間の合図を行わないこととします。
- 4) 2027年度以降の変更点については、同封した資料を熟読いただき、長拳種目の予選や長拳・南拳の種目変更にご対応ください。

以 上

国内大会の変更点について

1) 2026 年全日本選手権大会・自選難度種目の件

- ・前日練習は一般種目と時間を別に設定して行う。
- ・大会当日、自選難度選手のメインアリーナ練習は時間を限定して許可する。
- ・自選難度部門の表記を『強化指定国際競技部門』とする。

その他

- ・規定難度太極拳のホイッスルは行わない。

2) 2027 年全日本選手権大会における長拳・南拳種目の套路構成ルールに関する件

長拳・南拳種目（※各器械を含む）が自選套路になるのに合わせ、2005 年国際武術套路規則・第 4 章自選套路内容の関連規定 に基づき、また日本国内での状況等を考慮して以下の内容を変更加える。

・必選動作について

1. 長拳：変更なし
2. 剣術：「掛剣～背後穿掛剣があること」を除く
3. 刀術：変更なし
4. 槍術：連続 3 回の完全な攔拿扎槍があること
→攔拿扎槍を連続して行うことに変更
5. 棍術：両手で行う連続 3 回の完全な提撩花棍があること
→両手で行う提撩花棍を連続して行うことに変更
6. 南拳・南棍・南刀：変更なし

・跳躍動作制限について

1. 長 拳 ： 3 種以上 6 種以内
2. 刀術・棍術： 2 種以上 6 種以内
3. 剣術・槍術： 5 種以内
4. 南 拳 ： 1 種以上 5 種以内 ※盤腿（バンタイ）を含む
5. 南棍・南刀： 5 種以内

※重複する跳躍は不可（接続動作が異なる場合は可とする。減点はなし）

・套路構成について、套路減点はない

その他、ルール・問題点について、その都度審判委員会と競技委員会で協議を行う。

〈書式－３Ａ〉第４３回全日本武術太極拳選手権大会 〈個人競技 O-20〉出場申込書

提出期限：２０２６年４月１０日（金） <2026年４月１日時点で20歳以上の方のみ対象>

フリガナ			性別	国籍
氏名	(姓)	(名)	男・女	日本 他()
生年月日	西暦 年 月 日生 満()歳 2026年4月1日現在の満年齢を記入			
連絡先 住所	〒	—	電話：	()
勤務先 または 通学先	名称： (学生の場合は2026年4月2日以降の学籍学年 年生)			
都道府県 連盟名	都・道 府・県 武術太極拳連盟	個人情報 の取扱に ついての 同意	要綱に記載された個人情報の取扱について同意します 年 月 日	
所属団体名	静岡県中国武術協会 (本人の所属する団体名を記入し、団体印を捺印してください)		(本人署名)	

* 出場種目 * (出場する種目名を○で囲んでください。)

[b] 規定競技部門		[c] 自選競技部門
(1) この部門に出場する選手は、他の [a]、[c]、[d] の個人競技部門のいずれの種目にも出場することはできません。		(1) 25. ～30. は、1人1種目に限って出場することができます。
(2) 9. ～14. は、1人1種目に限って出場することができます。		25. 自選太極剣・刀 (32式・42式を含まない、その他の太極剣・刀から自選する)
(3) 9. ～14. のいずれかの種目に出場する選手は、17. ～24. のどの種目にも出場することができません。		種目名：
(4) 17. ～24. のなかでは、1人最多3種目まで出場することができます		26. 48式・88式太極拳 (48式・88式)
(5) 15. に出場する選手は、別途、17. ～24. に最多3種目まで出場することができます。		27. 楊式太極拳
(6) 17. ～24. のいずれかに出場する選手は、別途、15. に出場することができます。		28. 陳式太極拳
		29. 呉式太極拳
		30. 孫式太極拳
9. 総合太極拳規定套路A B	18. 剣術	31. 伝統拳術A (形意、八卦、八極)
10. 総合太極拳規定套路C	(第三・A・B 規定套路)	種目名：
11. 24式太極拳A	19. 刀術	32. 伝統拳術B (翻子、劈掛、通背、戳脚)
12. 24式太極拳B	(第三・A・B 規定套路)	種目名：
13. 24式太極拳C	20. 槍術	33. 伝統拳術C (象形その他)
14. 32式・42式太極剣 (32式・42式)	(第三・A・B 規定套路)	種目名：
15. 規定難度太極拳 (第三・ジ3)	(第三・A・B 規定套路)	34. 伝統器械
	22. 南拳 第三・第一 規定套路	種目名：
17. 長拳 (長拳 第三・A・B 規定套路)	23. 南刀 第三・第一 規定套路	使用する器械の種類：
	24. 南棍 第三・第一 規定套路	

◎ 氏名のフリガナ、生年月日の記載の無いものは受理されません。

◎ 年齢規定のある種目(総合太極拳A B、C、24式太極拳A、B、C、規定難度太極拳・ジュニア太極拳2、長拳、剣術、刀術、槍術、棍術、南拳、南刀、南棍)で、記載された生年月日、満年齢が規定年齢に適合しない申込書は、受理されません。

◎ 14.15.17.～24.26.はそれぞれ該当する套路に○印を明確につけること。記載がない場合は受理されません。

25.31.32.33.34.は種目名を必ず記入すること。特に「25.自選太極剣・刀」は自選種目名をできるだけ具体的に記入してください。競技編成の組み合わせのために、剣は自選楊式剣か自選陳式剣か等を、また、刀は自選楊式刀か自選陳式刀か等を明確に記入してください。

〈書式－４Ａ〉第４３回全日本武術太極拳選手権大会 シード選手用 〈個人競技 O-20〉 出場申込書

提出期限：２０２６年４月１０日（金） ＜２０２６年４月１日時点で２０歳以上の方のみ対象＞

フリガナ			性 別	国 籍
氏 名	(姓)	(名)	男・女	日 本 他()
生年月日	西暦 年 月 日生 満()歳 ２０２６年４月１日現在の満年齢を記入			
連絡先住所	〒 () 電話： ()			
勤務先または通学先	名称： (学生の場合は ２０２６年４月２日以降の学籍学年 年生)			
都道府県連盟名	都・道 府・県 武術太極拳連盟	個人情報 の取扱に ついての 同意	要綱に記載された個人情報の取扱について同意します 年 月 日	
所属団体名	静岡県中国武術協会 (本人の所属する団体名を記入し、団体印を捺印してください)	(本人署名)		

* 出場種目* (出場する種目名を○で囲んでください。)

[b] 規定競技部門	[c] 自選競技部門
(1) この部門に出場する選手は、他の [a]、[c]、[d] の個人競技部門のいずれの種目にも出場することはできません。	(1) 25. ～30. は、１人１種目に限って出場することができます。
(2) 9. ～14. は、１人１種目に限って出場することができます。	25. 自選太極剣・刀 (32 式・42 式を含まない、その他の太極剣・刀から自選する)
(3) 9. ～14. のいずれかの種目に出場する選手は、15. ～24. のどの種目にも出場することができません。	種目名：
	26. 48 式・88 式太極拳 (48 式 ・ 88 式)
	27. 楊式太極拳
	28. 陳式太極拳
	29. 呉式太極拳
	30. 孫式太極拳
9. 総合太極拳規定套路 A B	
10. 総合太極拳規定套路 C	
11. 24 式太極拳 A	
12. 24 式太極拳 B	
13. 24 式太極拳 C	
14. 32 式・42 式太極剣 (32 式 ・ 42 式)	

※一人の選手が、[b]～[d]の各競技部門に、重複して出場することはできません。

- ◎ 氏名のフリガナ、生年月日の記載の無いものは受理されません。
- ◎ 年齢規定のある種目(総合太極拳 A B、C、24 式太極拳 A、B、C、規定難度太極拳・ジュニア太極拳 2、長拳、剣術、刀術、槍術、棍術、南拳、南刀、南棍)で、記載された生年月日、満年齢が規定年齢に適合しない申込書は、受理されません。
- ◎ 14. 26. はそれぞれ該当する套路に○印を明確につけること。記載がない場合は受理されません。
 「25. 自選太極剣・刀」は必ず自選種目名を具体的に記入してください。競技編成の組み合わせのために、剣は自選楊式剣か自選陳式剣か等を、また、刀は自選楊式刀か自選陳式刀か等を明確に記入してください。

〈書式－3B〉第43回全日本武術太極拳選手権大会

〈個人競技 U-19〉出場申込書

提出期限：2026年4月10日（金） <2026年4月1日時点で19歳以下の方のみ対象>

フリガナ			性別	国籍
氏名	(姓)	(名)	男・女	日本 他()
生年月日	西暦 年 月 日生 満()歳 2026年4月1日現在の満年齢を記入			
連絡先住所	〒 ー 電話： ()			
勤務先または通学先	名称： (学生の場合は2026年4月2日以降の学籍学年 年生)			
都道府県連盟名	都・道 府・県 武術太極拳連盟	個人情報の取扱についての同意	要綱に記載された個人情報の取扱について同意します 年 月 日 (本人署名)	
所属団体名	静岡県中国武術協会 (本人の所属する団体名を記入し、団体印を捺印してください)		(保護者署名) ※18歳未満のみ	

* 出場種目 * (出場する種目名を○で囲んでください。)

[b] 規定競技部門		[c] 自選競技部門
(1) この部門に出場する選手は、他の [a]、[c]、[d] の個人競技部門のいずれの種目にも出場することはできません。		(1) 25.～30. は、1人1種目に限って出場することができます。
(2) 10.13.14. は、1人1種目に限って出場することができます。		25. 自選太極剣・刀 (32式・42式を含まない、その他の太極剣・刀から自選する)
(3) 10.13.14. のいずれかの種目に出場する選手は、15.～24. のどの種目にも出場することができません。		種目名：
(4) 17.～24. のなかでは、1人最多3種目まで出場することができます。		26. 48式・88式太極拳 (48式・88式)
(5) 15.または16. はいずれか1種目に限り出場することができ、別途、17.～24. に最多3種目まで出場することができます。		27. 楊式太極拳
(6) 17.～24. のいずれかに出場する選手は、別途、15.または16. のいずれかに出場することができます。		28. 陳式太極拳
		29. 呉式太極拳
		30. 孫式太極拳
18. 剣術 (第三・A・B 規定套路)		[d] 伝統競技部門
10. 総合太極拳規定套路C	19. 刀術 (第三・A・B 規定套路)	(1) 31.～34. は、1人1種目に限って出場することができます。
13. 24式太極拳C	20. 槍術	(2) 34. 伝統器械では、太極剣・刀を演技することはできません。
14. 32式・42式太極剣 (32式・42式)	21. 棍術	31. 伝統拳術A (形意、八卦、八極)
15. 規定難度太極拳 (第三・ジ3)	22. 南拳 第三・第一 規定套路	種目名：
16. ジュニア太極拳2 (16動作)	23. 南刀 第三・第一 規定套路	32. 伝統拳術B (翻子、劈掛、通背、戳脚)
17. 長拳 (長拳 第三・A・B 規定套路)	24. 南棍 第三・第一 規定套路	種目名：
		33. 伝統拳術C (象形その他)
		種目名：
		34. 伝統器械
		種目名：
		使用する器械の種類：

※一人の選手が、[b]～[d]の各競技部門に、重複して出場することはできません。

◎ 氏名のフリガナ、生年月日の記載の無いものは受理されません。

◎ 年齢規定のある種目(総合太極拳A・B・C、24式太極拳A・B・C、規定難度太極拳・ジュニア太極拳2、長拳、剣術、刀術、槍術、棍術、南拳、南刀、南棍)で、記載された生年月日、満年齢が規定年齢に適合しない申込書は、受理されません。

◎ 14.15.17.～24.26.はそれぞれ該当する套路に○印を明確につけること。記載がない場合は受理されません。

25.31.32.33.34.は種目名を必ず記入すること。特に「25.自選太極剣・刀」は自選種目名をできるだけ具体的に記入してください。競技編成の組み合わせのために、剣は自選楊式剣か自選陳式剣か等を、また、刀は自選楊式刀か自選陳式刀か等を明確に記入してください。

〈書式－５Ｂ〉

2026 年度「第 43 回全日本武術太極拳選手権大会」

長拳（満 12 歳以上）エントリー申請書

フリガナ		性別	生年 月 日	西暦 年
氏 名		男・女	月 日生 日	才 2026 年 4 月 1 日現在の満年齢を記入
現住所	〒			
電話番号	TEL : FAX :	携帯電話 E-mail		
所属連盟				
指導 コーチ	氏名 :		携帯番号 :	
	E-mail :			

関係各位：以下の出場要件について確認をし、下記に署名してください。

【出場要件】国際第一・第二套路・第三套路長拳は、跳躍回転と着地、新ルールに対応した高度な基本動作を行わなければなりません。また国スポや国際種目としての技術水準を保つために、参加に際しては、套路を習熟し同時に基本的跳躍動作が完成しており、原則申し込み時点で以下の①歩型②跳躍動作③腿法が完成していることも条件とします。①②③のチェックが無い場合出場不可となります。

指導コーチの責任において厳正なる判断を下した上で、□にチェックを入れ、下記にサインをお願いします。

- ① 弓歩・馬歩・仆歩・虚歩が国際 2005 年ルール A 組歩型の規格通りできている ☐
- ② 騰空飛脚の跳躍時に右足のつま先が胸部の高さを超え、両足で着地ができる ☐
- ③ 後掃腿が一周以上回れる ☐

指導コーチとして本申請選手は、上記「出場要件」と「歩型・跳躍動作・腿法」の動作条件を満たしていることを証明します。

20____年____月____日

コーチ所属団体名：静岡県中国武術協会

コーチ氏名（自署）：_____
(印)

＜都道府県連盟承認欄＞

武術太極拳連盟 代表者：_____
(印)

＜日本連盟競技委員会承認欄＞

競技委員会は上記内容を確認し、標記選手の大会参加を 承認する ・ 承認しない (印)

〈書式－5C〉

2026 年度「第 43 回全日本武術太極拳選手権大会」

南拳（満 12 歳以上）エントリー申請書

フリガナ		性別	生年 月 日	西暦 年
氏名		男・女	月 日生 才	2026 年 4 月 1 日現在の満年齢を記入
現住所	〒			
電話番号	TEL : FAX :	携帯電話 E-mail		
所属連盟				
指導 コーチ	氏名 :		携帯番号 :	
	E-mail :			

関係各位：以下の出場要件について確認をし、下記に署名してください。

【出場要件】国際第一・第三套路南拳は、跳躍回転と着地、新ルールに対応した高度な基本動作を行わなければなりません。また国際種目としての技術水準を保つために、参加に際しては、套路を習熟し同時に基本的跳躍動作が完成しており、原則申し込み時点で以下の①歩型②跳躍動作③跌扑が完成していることも条件とします。①②③のチェックが無い場合出場不可となります。

指導コーチの責任において厳正なる判断を下した上で、□にチェックを入れ、下記にサインをお願いします。

- ① 弓歩・馬歩・仆歩・虚歩・蝶歩・跪歩・騎龍歩の歩型が国際 2005 年ルール A 組歩型の規格通りで
きている ☐
- ② 騰空外摆腿の跳躍時に右足のつま先が胸部の高さを超え、両足で着地ができる ☐
- ③ 鯉魚打挺が完成している（手などの補助は不可） ☐

指導コーチとして本申請選手は、上記「出場要件」と「歩型・跳躍動作・跌扑」の動作条件を満たしていることを証明します。

20____年____月____日

コーチ所属団体名：静岡県中国武術協会

コーチ氏名（自署）：____（印）

＜都道府県連盟承認欄＞

____武術太極拳連盟 代表者：____（印）

＜日本連盟競技委員会承認欄＞

競技委員会は上記内容を確認し、標記選手の大会参加を 承認する ・ 承認しない （印）